

40周年ニュース

第14号

2026.3.11発行

山好会40周年記念事業
実行委員会

40周年記念事業【報告】

美ヶ原雪山ハイク

18名参加

2026.3/3~4

開催日5日前に宿泊先から、気温の高い日が続き雨も降って牧場には雪が無くなりスノーシューは面白くない旨の連絡ありました。圧雪され固まった雪道を歩くため参加者にアイゼン等を持参するよう案内せざるを得ない状況でした。



3月3日(火)

小雨模様の中、津の松岡さん駐車場を21人乗り小型バスで7時前に出発。御在所SAで北勢の方々を乗せ、道中小雨続きでしたが雪に変わることを期待して北へ向かいます。諏訪湖を過ぎて分水嶺山脈



を貫く国道の長いトンネルを抜けると何と白い景色ではありませんか。皆の歓声が聞こえます。道の駅和田ステーションで宿の車に乗り換え標高差1000mを上がり美ヶ原へ着けば雪タップリな世界でした。美ヶ原高原ホテル山本小屋に到着。チェックイン後すぐスノーシューレンタルし取り付けますがバンド固定に手こずったりします。15cmほど積もった平坦な雪道で歩行練習。湿った重い雪ですが皆スムーズに歩いています。美の塔で鐘を鳴らしたり写真撮ったり。小雪舞っていますが気温は零度位で風無く寒くありません。霧に包まれ見通し

悪いので予定の鹿伏山へは行かず1時間ほどで宿へ戻りました。2000mの山小屋で温泉とは極楽です。サービスの信州リンゴで飾られた食堂へ。これまたサービスの信州産赤ワインで乾杯。明日お世話になる山岳ガイドさんも交えて質、量とも満足な夕食後はスライドショー。小屋代表の方から美ヶ原の自然や信州の歴史、山小屋の事などの話を聞きました。雪は降り続け予定していた皆既月食鑑賞会はできません。



3月4日(水)

前日ガイドさんと打ち合わせたこと

- 新雪多く視界悪そうなので危険度の低いコースにする
- スノーシューに慣れてない人いるのでゆっくりペース
- 遊びも交えた内容
- 状況に応じた的確な判断必要

結果 当初予定の王が鼻までは行かず最高地点の王が頭までに決めました。

8時半からガイドさんに歩き方のコツなど教えてもらい出発。積雪は増し、しかもサラサラな雪質で沈みますが昨日よ



り歩きやすい感じ。浮遊感がたまりません。霧の中、視界が悪いので牧場に入らず柵沿いにガイド先頭で進みます。時折薄日が差し始め晴れを期待しますが見えるのは数百メートル先の雪の丘のみ。立ち休憩ごとにガイドから役に立ついろいろな話が聞けました。

牧場を過ぎ傾斜が増すと樹林帯へ。木々には着雪と霧氷が付きたいへんきれいです。王が頭山頂で集合写真後、王が頭ホテル前の広場でおやつタイム。氷点

下ですが風無く寒くないです。

帰りは雪の多いコースを取ります。左側は斜面になっており新雪雪崩の恐れありで昨年下見時通れたコースは行けません。雪が深くなると足をとられたりして痛くなる人が出て足場の良いコースに変更ですが、やや高い柵を越えねばなりません。大きく足を上げてアスレチックに乗り越えました。美の塔辺りの広場で雪遊びです。雪の上にダイブして大の字に寝てみたり、『いくわよう〜』のかけ声で雪合戦が始まりました。サラサラ雪で固まらず当たっても痛くありません。



ん。しばし童心に戻りました。依然としてガスガスの中、宿

へ戻ります。頼れるガイドさんがいてくれて安心感はひとしおでした。スノーシュー歩きを充分楽しめました。昼食済ませて13時に出発の頃、青空出始め、車窓から向こうの尾根に見事な樹氷をまとった木々が立ち並び光差しこみ、それは美しい景色でした。来シーズンはこんなのに出会いに雪山へと願った方もいたでしょう。

すべて無事に津へは19時前に着きました。

文責 豊田雅啓

